

千葉県市川市には、「真間の手児奈」という女の人のお話が、『万葉集』という日本最古の歌集の時代から語り伝えられています。「真間の手児奈」は、時代によりさまざまにイメージされてきました。

また、多くの文学作品に取り上げられています。

この本を参考に、「真間の手児奈」のすがたを追ってみましょう。

目次

真間の手児奈	1
高橋虫麻呂が詠んだてこな	6
山部赤人が詠んだてこな	10
東歌に詠まれたてこな	11
てこなの時代の真間はどんなところ？	12
てこなの正体をさぐる	14
神さまになったてこな	16
江戸時代の人気者てこな	18
語りつがれるてこな	20
てこな大変身！	22
てこなを描いた市川ゆかりの作家の作品	25
てこなを描いた市川ゆかり以外の作家の作品	30
より深く知るために……	32

協力者一覧(敬称略 順不同)

秋吉哲幸、東千恵、大滝てる子、梶山俊夫、勝倉良枝、金子元久、唐沢静、神作光一、清川妙、宗香、田木宗太、千葉貴一、塚原涼一、永井永光、中津攸子、西川日恵、益子智仔、山内一成、山本純士、米屋陽一、渡辺裕子、和爾寛子
市川ちもと、松竹、すがの会、ティール・エルエス酒の及川、成田山新勝寺、パティオ・ローズ、フジオ・プロダクション、船橋市西図書館、真間山弘法寺、真間大門てこな協議会、モンペリエ勝、和洋女子大学メディアセンター、市川考古博物館、市川市中央図書館
その他、大勢の方からご協力いただきました。

凡例

*この図録は、市川市文学プラザ企画展「てこな ―その姿をもとめて(二〇〇九年二月七日～五月二十八日開催)」の展示内容に基づいて、構成した展示図録です。

*『万葉集』の読み下し文は、『萬葉集 一、二、三 新日本古典文学大系(佐竹昭広他校注 一九九九～二〇〇二年 岩波書店)』を用い、現代かなづかいのルビをふりました。

*図録の編集・資料撮影は、文学プラザ職員で行いました。
*著作権およびプライバシー等については、十分に配慮しましたが、その他を含めて、お気づきの点がありましたら、ご連絡ください。

市川市文学プラザ企画展図録 「てこな TEKONA」

二〇〇九年(平成二一)二月七日発行

二〇〇九年(平成二一)五月二六日第二刷発行

編集・発行 市川市文学プラザ

〒二七二〇〇一五 千葉県市川市鬼高二―一―四

生涯学習センター三階

TEL/〇四七-三三〇-三三三三 FAX/〇四七-三三〇-三三三二

http://www.city.ichikawa.lg.jp/bunpla/

制作 株式会社 ゑゅっせ